



# 令和3年度 出雲市学校図書館支援センターだより 令和4年3月17日発行

出雲市市民文化部出雲中央図書館 子ども読書推進係（学校図書館支援センター） 電話21-6271



今年度もあとわずかですね。この1年の状況をお知らせします。来年度も学校図書館と子どもの読書活動の支援を頑張ります。

## おはなしゆうびんやさん（ストーリーテリング・ブックトーク）

～ 令和3年度も、たくさんのお話を届けました ～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止もありましたが、新規の依頼も増えて、多くの地域に読書の輪が広がりました。

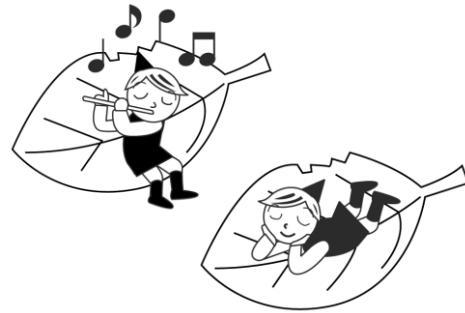
- ブックトーク・・・ひとつのテーマを軸に、関連する内容の本をつなげて複数冊紹介。素敵な本との出会いが待っています。

《たとえば、こんなテーマで紹介しました（実施例）》

- ・3年生へ：「ともだちっていいものだ！」
- ・4年生へ：「変身～へんしんしたら、どうなるの?!～」
- ・中学生へ：「謎解きに挑戦！」

それぞれのテーマで、どんな本を紹介したのかは……秘密です。ぜひ、子どもたちのために、「本の紹介」というプレゼントの箱を開けてください。

本は、置いてあるだけでは何も語りかけてはくれません。けれども、開けばそこから果てしない世界が広がっています。本当に力のある本は、子どもたちがすぐに手に取ってくれるような姿をしていないことが多々あります。素晴らしい本たちに向けて、子どもたちの手が伸びてくれるよう、本の側から出会いの橋をかけるのが、ブックトーカーです。（小学校3年生から）



- ストーリーテリング・・・各国の民話や童話などを覚えて語る、素話。物語の楽しみを味わい、そして知る、おだやかな時間を過ごします。

《たとえば、こんなお話を語りました（実施例）》

- ・1年生へ：「かにかに、こそこそ」（日本）
- ・3年生へ：「王子さまの耳は、ロバの耳」（ポルトガル）
- ・6年生へ：「がちょう番の娘」（グリム童話）

聞き手である子どもたちの様子を見ながら、語りの調子を調整する、対話のようなお話の時間。子どもたちは、まるで自分が登場人物そのもののように、心の中で、静かで熱い冒険をします。

他の人の肉声でお話を聞かせてもらう体験は、人の心、とりわけ子どもたちの心に、温かい記憶として残ります。それは、子どもたちが大人になってからも心の奥底に残っていて、困難に遭った時には、（直接的ではないにせよ）心を支えてくれる確かな力となります。心の深い所に留まる幸せのときを紡ぐのが、ストーリーテラーです。（中・高学年や、中学生にも）



◆すでに実施されている学校も、まだ実施したことがない学校も、まずは申請してみてください。

## 学習で活用された図書を紹介

今年も学校によって様々な本の収集依頼がありました。内容に応じて、出雲市内の図書館7館が協力して本を集めています。まずはお気軽にお申込みください。

### 学校から依頼があった単元と、活用された本の一部を紹介します

- 1年生 国語「いろいろなふね」／生活「いきものとなかよし」
- 2年生 国語「言いつたえられているお話を知ろう」／生活「大きくなあれ わたしの野さい」
- 3年生 国語「自然のかくし絵」「パラリンピックが目指すもの」
- 4年生 国語「くらしのなかの和と洋」／総合「水の生き物」
- 5年生 国語「古文に親しむ」「和の文化を受けつぐ」
- 6年生 国語「町の幸福論」／総合「ふるさと再発見」「世界遺産を案内しよう」
- 中学生 家庭科「幼児ふれあい体験」／総合「いろいろな職業について知ろう」



2年生・生活  
「大きくなあれ  
わたしの野さい」  
ミニトマト  
齊藤 和貴／監修  
新日本出版社／刊



5年生・国語  
「和の文化を受けつぐ」  
調べてみよう！  
日本の職人伝統のワザ  
学研教育出版／刊

### 学校で活用された本のリスト

学校からの情報提供をもとに、活用された本を出雲市立図書館ホームページで公開しています。

〔 図書館サービス > おすすめ本・展示 > 図書館からのおすすめ本 > 子ども読書推進係 学校図書館支援センター > 学習等に活用された本 > テーマ・単元 〕

### ●情報提供にご協力をお願いします

図書館で借りた本の中で活用した本があれば図書館までお知らせください。

- ① 本の貸出時に本のリストをお渡ししています。該当の本に○印をしてください。
- ② 本の返却時に本のリストを図書館までお渡しください。いつもご協力ありがとうございます！

## 中学生向け本の紹介「本はともだち」をリニューアルしました。

毎月テーマを定めて新旧さまざまな本を紹介します。新コーナー「ともだち★AMIGA」では、日本語とポルトガル語で書かれた同一本や、同じ題材を扱った本を紹介しています。ちょっとした読み物としても楽しんでいただける紹介紙を目指しますので、読書に、選書に、ぜひご活用ください。

